

款	項	目	担当部局・課名				
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課				
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域			
事業名		事業(経費)内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額(千円)		
自治振興活動費補助事業		事業(経費)内の主たる費目	① 負担金, 補助及び交付金	⑨ 交付金	200,900		
			②				
			③				
			④				
			⑤				
実施計画No,		66					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			200,900		
該当ページ		60 /頁	⑦ その他の節など(上記以外)の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →				
		61 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →				
歳入に関する項目		予算額(千円) (⑧)	特定財源内訳(千円)			一般財源(千円)	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度		200,900				200,834	66
(予定) 特定財源内訳		財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
		国庫支出金					
		県支出金					
		負担金	基金利子: 38,910千円, 協働のまちづくり事業助成金: 3,924千円, 地域振興基金繰入金: 158,000千円				
事業内容及びその目的(めざすもの)		地域住民自ら地域の課題に対し, 地域活動の実践を通して地域の活性化を図り, 住民自治のまちづくりを進めていく住民自治組織の活動を支援する。交付金による支援を行うことで, 各地域において「まちづくりビジョン」達成のための活動を推進し, 持続可能なまちづくりの推進を図る。					
事業の積算根拠等(詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等		<p>○ 負担金, 補助及び交付金 200,900千円 (19住民自治組織)</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 19住民自治組織交付分 199,291千円 (別添資料: 三次市自治活動支援交付金交付一覧表)</li> <li>・ 地域共創プロジェクト事業分 1,609千円</li> </ul> <p>&lt;地域共創プロジェクト事業&gt;</p> <p>◆ 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内の小中高生と住民自治組織が連携して地域課題解決に向けた取組に対し支援を行う。</li> <li>・ 19住民自治組織を対象に事業を募集し実施</li> <li>・ 1地区あたり500千円(上限額) 予算の範囲内で支援</li> <li>・ 課題の発見から解決まで一連の取組を対象とする(一過性の取組は対象外)。</li> </ul> <p>◆ 効果</p> <p>小中高生と地域が連携して地域課題解決に最後まで取り組むことで, 達成感・自己肯定感につながり, 郷土愛の醸成が図られる。</p> <p>≪取組事例≫</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>まちの魅力づくり推進事業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>次代を担う人材育成事業</p> </div> </div>					
別添資料		有					
(一覧表/図面等)							
<p>継続事業&gt; 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>令和5年度の交付金制度見直しによる「選択事業」の導入は, 事業目的を再考する契機となり, 取組内容の充実に繋がっている。また, 各地区の共通課題や地域特有の課題に対し, 研修等を通じて主体的な解決への動きも加速している。特に「地域共創プロジェクト」の活用により, 地元の小中高生と連携した世代間交流によるまちづくりが広がるなど, 新たな活力も生まれている。引き続き住民自治組織との意見交換を継続し, 制度のブラッシュアップを図ることで, 次世代へつなく持続可能なまちづくりを推進する。</p>							

自治活動支援交付金 (案)

別紙資料 1

【★交付金】

- ①人件費：事務局長（月額：210,000円，賞与あり） 事務局員（月額：184,000円，賞与あり）【5%アップ】  
 役職手当（会長：240,000円，副会長：120,000円/人×2人）
- ②運営費：（均等割：500,000円，世帯加算：1,000円/世帯，選択事業：Max1,600,000円）  
 ※世帯割については，3,000世帯を超えた場合は，500円/世帯とする。

No.	自治組織	人件費						運営費							公民館 保険掛金(行事場 音補機Sタイプ)	合計 (端数処理)
		小計	事務局長	事務局員	人数	1人当たり 単価	役職手当	世帯数 (R4.10.1)	世帯加算 (1,000円)	均等割	公用車	小計	選択事業	運営費 合計		
1	河内まちづくり連合会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	452	452,000	500,000		952,000	1,600,000	2,552,000	48,450	9,514,000
2	三次地区自治会連合会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	2,069	2,069,000	500,000		2,569,000	1,600,000	4,169,000	68,850	11,151,000
3	粟屋町づくり協議会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	734	734,000	500,000		1,234,000	1,600,000	2,834,000	58,650	9,806,000
4	川地連合自治会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	797	797,000	500,000		1,297,000	1,600,000	2,897,000	58,650	9,869,000
5	青河自治振興会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	170	170,000	500,000		670,000	1,600,000	2,270,000	25,200	9,209,000
6	十日市自治連合会	9,903,000	3,441,860	5,981,100	2	2,990,550	480,000	4,828	3,914,000	500,000		4,414,000	1,600,000	6,014,000	68,850	15,986,000
7	酒屋地区自治会連合会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	937	937,000	500,000		1,437,000	1,600,000	3,037,000	58,650	10,009,000
8	八次地区連合自治会	9,903,000	3,441,860	5,981,100	2	2,990,550	480,000	4,019	3,509,500	500,000		4,009,500	1,600,000	5,610,000	68,850	15,582,000
9	和田自治連合会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	645	645,000	500,000		1,145,000	1,600,000	2,745,000	58,650	9,717,000
10	神杉地区自治会連合会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	602	602,000	500,000		1,102,000	1,600,000	2,702,000	58,650	9,674,000
11	田幸地区町内会連合会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	563	563,000	500,000		1,063,000	1,600,000	2,663,000	58,650	9,635,000
12	川西自治連合会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	437	437,000	500,000		937,000	1,600,000	2,537,000	48,450	9,499,000
13	君田自治区連合会	5,418,000	3,441,860	1,495,275	0.5	2,990,550	480,000	594	594,000	500,000		1,094,000	1,600,000	2,694,000	58,650	8,171,000
14	布野町まちづくり連合会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	573	573,000	500,000		1,073,000	1,600,000	2,673,000	58,650	9,645,000
15	作木町自治連合会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	589	589,000	500,000		1,089,000	1,600,000	2,689,000	58,650	9,661,000
16	吉舎町自治振興連合会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	1,608	1,608,000	500,000		2,108,000	1,600,000	3,708,000	280,500	10,902,000
17	三良坂町自治振興区連絡協議会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	1,417	1,417,000	500,000		1,917,000	1,600,000	3,517,000	119,850	10,550,000
18	三和町自治連合会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	1,256	1,256,000	500,000		1,756,000	1,600,000	3,356,000	237,150	10,507,000
19	甲奴町振興協議会連合会	6,913,000	3,441,860	2,990,550	1	2,990,550	480,000	997	997,000	500,000		1,497,000	1,600,000	3,097,000	193,800	10,204,000
小計		135,832,000	65,395,340	61,306,275		56,820,450	9,120,000	23,287	21,863,500	9,500,000	0	31,363,500	30,400,000	61,764,000	1,687,800	199,291,000

予算額 200,900,000

差額 1,609,000 ※特別枠事業

款	項	目	担当部局・課名	
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課	
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域
事業名			節名称	細節名称
集落支援員事業			① 報 償 費	⑤その他報償費
			② 役 務 費	⑧その他保険料
			③	
			④	
			⑤	
実施計画No,		61		
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →	
該当ページ		60 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →	
		61 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →	
歳入に関する項目		予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)	
			国庫支出金	県支出金
			市債	負担金等その他
令和8年度		13,670		
(予定) 特定財源内訳		財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称	
		国庫支出金		
		県支出金		
		負担金		
事業内容及びその目的 (めざすもの)		希望する住民自治組織に集落支援員を配置し、住民自治組織と連携して集落点検や地域での課題解決に向けた取組み、空き家対策や定住対策などの取組みを進めている。定期的に集落支援員同士の情報交換も行うなど、集落支援員自身がそれぞれの地域において主体的に取組まれている。引き続き、住民自治組織と連携し、各住民自治組織が掲げるまちづくりビジョンの実現に向けた活動を支援していく。		
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等		<p>○ 報償費 13,546千円</p> <p>集落支援員報酬 13名分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8,300円×5人×8日×12か月分 3,984千円</li> <li>・ 8,300円×8人×12日×12か月分 9,562千円</li> </ul> <p>※ 令和8年度から500円の交通費相当額を加算</p> <p>○ 役務費 124千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保険料 9,500円×13名分 124千円</li> </ul> <p>※令和7年度現在の集落支援員配置地区 (12地区)</p> <p>(河内, 川地, 和田, 神杉, 田幸, 川西, 君田, 布野, 作木, 吉舎, 三良坂, 甲奴)</p> <p>(集落支援員活動の様子)</p>		
別添資料		 		
無 (一覧表/図面等)				
<p>継続事業&gt; 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>集落支援員は各地区の自治組織との連携・協力により、空き家バンク事業や移住者支援などに取り組むとともに、地域課題でもある賑わいづくり等に携わっている。市との情報共有や研修はもとより、全員参加による「集落支援員ネットワーク協議会」を設置し情報共有により自らのスキルアップに努めている。このように、集落支援員事業の活用により、地域の実情に応じた様々な活動が展開されるなど、持続可能なまちづくりにおける役割は大きく、効果も期待できることから継続事業とし、令和8年度から報酬額の見直しを行う予定である。</p>				

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		新規事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
地域資源を活用した元気な地域づくり支援事業			① 報 償 費	①委員等謝礼	90	
			② 負担金, 補助及び交付金	⑥補助金 (建設単独)	10,000	
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,		63				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		10,090	
該当ページ		60 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		61 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		10,090	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	10,090					10,090
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	市内の既存施設等の地域資源を活用し、地域と多様な人材をつながる場を創出し、地域活性化や地域内産業の活性化に資する事業を支援する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○ 報償費 90千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価委員会謝礼 (委員長30千円×1人, 委員20千円×3人) ×1回</li> </ul> <p>○ 負担金, 補助及び交付金 10,000千円</p> <p>【補助対象経費】</p> <p>既存施設の活用のため必要となる施設整備等 (地域間交流施設, 農林水産業施設, 商工観光施設, 地域振興施設等) に要する経費</p> <p>【補助対象者】</p> <p>法人格を有する団体等</p> <p>【補助率, 補助額】</p> <p>(1) 廃校となった学校施設を活用する場合 補助率2分の1, 上限額1,000万円</p> <p>(2) 三次市内にある空き家を活用する場合 補助率2分の1, 上限額500万円</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		新規事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
地域まちづくり支援事業			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	5,000	
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,		65				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		5,000	
該当ページ		60 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		61 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		5,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	5,000					5,000
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	地域において人口減少と少子高齢化が進む中で、地域住民がこれからのまちづくり活動を推進するために必要とする取組を支援することで持続可能なまちづくりの推進を図る。					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○ 補助金 5,000千円</p> <p>【補助対象団体】 住民自治組織</p> <p>【補助額及び補助率】 補助額：上限額50万円/1組織 補助率2/3 (今年度の予算配分は10団体程度を見込む)</p> <p>【補助対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民自治組織が策定する地域まちづくりビジョンの実現のための取組</li> <li>・ これからのまちづくり活動における課題解決をめざして行う調査・研究 (外部人材による助言・調査研究に係る業務委託、担い手育成等につながる事業など)</li> <li>・ 先進事例の研究・視察など情報収集や外部人材を活用した担い手育成等につながる事業</li> </ul>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		新規事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
学校再編後の地域・子ども交流支援事業			① 負担金, 補助及び交付金	⑥補助金 (補助費)	1,000	
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,		64				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		1,000	
該当ページ		60 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		61 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		1,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	1,000				1,000	
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	「三次市立小中学校あり方に関する基本方針」により閉校となった小中学校を有する地域が、再配置後も引き続き子どもたちの交流ができるよう、地域と子どもとのつながりづくりや郷土愛の醸成を目的として行う取組を支援し持続可能なまちづくりの推進を図る。					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○ 補助金 1,000千円</p> <p>【補助対象団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自治組織 (「三次市立小中学校あり方に関する基本方針」により閉校となった学校を有する地域)</li> <li>※令和8年度の対象地域は君田地域 (君田中), 吉舎地域 (八幡小)</li> </ul> <p>【補助額】</p> <p>上限50万円/1組織</p> <p>【補助率】</p> <p>10分の10</p> <p>【補助対象事業】</p> <p>(1) 住民自治組織が地域の事情に応じて行う、地域の子どものつながりづくり等を目的とする事業</p> <p>(2) 住民自治組織が今後のまちづくりを見据えて行う、郷土愛の醸成等を目的とする事業 など</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
地域共創まちづくり支援事業			① 報酬	②講師謝礼	1,000	
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		1,000	
該当ページ			⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		1,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	1,000					1,000
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	自治活動において、まちづくりに関わる人材不足など様々な課題がある中、世代を超えて今後のまちづくりについて検討し、取組んでいく必要がある。そのため、まちづくりの基本となる「対話」の手法やあり方を学ぶ機会を設けることで、今後の地域における新たな仕組みづくりにつなげていく。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○ 報償費 1,000千円 (講師謝礼：複数回講師を招聘して実施)  令和7年度に実施した「対話」をキーワードとしたまちづくり研修会の様子					
						
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
これまでは住民自治組織のみを対象とした研修会が多かったが、令和7年度は「対話」に軸を置いた研修会として、一般市民の方や市内中学生も参加しての開催としたため、新たな視点での考えや発見のある機会となり、地域でも実践してみたい声もあがり、今後のまちづくりにおいて「対話」の重要性が認識できた機会にもなった。特に中学校を交えた研修会は高い評価もあり、地域での実践につながるよう継続した取組が必要である。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業 (拡充)		政策5 いきいきとした地域		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
旧安田小学校校舎改修事業			① 委託料	④調査設計監理等委託料	3,311	
			② 工事請負費	①工事請負費 施設改修工事	62,000	
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		65,311	
該当ページ		62 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		63 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		65,311	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	65,311			65,300	11	
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	安田地域のまちづくりの拠点として、旧安田小学校校舎を改修、コミュニティセンター機能を移転することで、拠点性向上を図るとともに、さらなるまちづくり活動の活性化を推進する。					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○ 委託料 (調査測量設計監理等委託料) 3,311千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧安田小改修工事監理業務委託料</li> </ul> <p>○ 工事請負費 62,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧安田小改修工事請負費</li> </ul> <p>【施設概要】 旧安田小学校校舎 昭和63年築造, RC造2階建, 床面積 1,270㎡</p> <p>【施設改修内容】 安田コミュニティセンターの機能を校舎1階へ移転, 校舎2階は普通財産とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校舎改修 (消防法対応)</li> <li>各諸室改修 (事務室, 研修室, 多目的スペース, 調理・実習室, 小集会室 (和室))</li> <li>トイレ改修 (洋式化)</li> <li>エアコン, LED照明整備</li> </ul>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 <p>旧安田小学校校舎</p>					
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課		
事業区分		継続事業 (拡充)		政策5 いきいきとした地域	
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)
みよし暮らし推進事業 (移住者支援)			① 報 償 費	⑤その他報償費	3,000
			② 旅 費	②普通旅費	348
			③ 役 務 費	③広告料	700
			④ 委 託 料	①業務委託料 (物件費)	380
			⑤ 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	22,500
実施計画No,	60				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			26,928
該当ページ	64 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			644
	65 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			27,572
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和8年度	27,572				76
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
特定財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金	市町村振興協会助成金 協働のまちづくり事業助成金			
事業内容及びその目的 (めざすもの)	「三次を選んでもらう、定住につなぐ、三次に住み続けてもらう」ため総合的な支援を実施する。移住コーディネーター配置し、移住相談への対応、集落支援員と連携した現地対応を行うとともに、各種補助金による移住・定住の支援を行う。また、移住・定住ポータルサイトによる情報発信により本市への移住・定住の促進を図る。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報償費 3,000千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他報償費 (移住コーディネーター報償費250千円/月×12か月×1人分)</li> </ul> </li> <li>○ 旅費 348千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島県交流・定住促進協議会 (東京会場 50千円×1人×2回)</li> <li>・ ふるさと回帰支援センター (東京会場 55千円×2人×1回, 大阪会場 45千円×2人×1回)</li> <li>・ 市町会議出席 (広島市 3,780円×2人×5回【芸備線】)</li> </ul> </li> <li>○ 需用費 40千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消耗品費 40千円 (移住相談事業 事務用品)</li> </ul> </li> <li>○ 役務費 760千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通信運搬費 60千円</li> <li>・ 広告料 700千円 (定住情報発信に係る広告料)</li> </ul> </li> <li>○ 委託料 380千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報発信業務委託料 380千円 (ポータルサイト運用保守+YouTubeの作成編集業務)</li> </ul> </li> <li>○ 使用料及び賃借料 132千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ システムアプリケーション使用料 132千円</li> </ul> </li> <li>○ 負担金, 補助及び交付金 412千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島県交流・定住促進協議会負担金 76千円, ふるさと回帰支援センター 50千円, 研修会等出席負担金 286千円</li> </ul> </li> <li>○ 負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 22,500千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住コーディネーター活動補助金 1,000千円</li> <li>・ 空き家バンク改修補助金 6,000千円 (600千円×10件)</li> <li>・ Uターン者実家等改修補助金 8,000千円 (500千円×16件)</li> <li>・ 移住者住宅取得奨励金 7,500千円 (150千円×50世帯)</li> </ul> </li> </ul>				
別添資料	無				
(一覧表/図面等)					
<p>継続事業&gt; 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>移住コーディネーターと集落支援員とが連携を図りながら移住相談に対応する体制が確立し、年々移住希望者の相談件数や成約件数が増加している。また、ふるさと回帰支援センターや広島県主催の移住フェアへの積極的な参加や、SNS等での情報発信に努めており、引き続き各種補助事業を活用いただく中で、三次暮らしの支援を促進し、移住・定住を促進する。</p>					



令和7年度 移住フェアの様子

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策 5 いきいきとした地域		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
移住支援金			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助金)	6,000	
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		6,000	
該当ページ			⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		6,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	6,000		4,500		1,500	
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金	移住支援事業補助金				
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	三次市への移住及び定住の促進並びに、中小企業等における人材不足の解消のために、東京圏から本市へ移住して、起業・就業等を行う方に対して、広島県と連携して移住支援金を交付する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○ 負担金, 補助及び交付金 6,000千円</p> <p>【補助対象者】</p> <p>下記の①, ②いずれかの要件を満たす方</p> <p>① 移住に関する要件</p> <p>&lt;移住元で&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三次市に住民票を移す直前10年間のうち、通算5年以上、東京23区内に在住又は東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内へ通勤していた方</li> <li>住民票を三次市に移す直前に連続して1年以上、東京23区内に在住又は東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内へ通勤していた方</li> </ul> <p>&lt;移住先で&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三次市に転入後、1年以内であること。申請日から5年以上、継続して本市に居住する意思を有している方</li> </ul> <p>② 次のいずれかの要件を満たす方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就業に関する要件、テレワークに関する要件、起業に関する要件、関係人口の要件を満たす方</li> </ul> <p>※各要件の詳細はチラシのとおり</p> <p>【移住支援金の額】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単身の場合、60万円</li> <li>2人以上の世帯の場合、100万円 (18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合は、1人につき100万円を加算)</li> </ul> <p>※財源 (負担割合: 国1/2 県1/4, 市1/4) ※国費が県に入り、県から一括の補助金</p> <p>【事業実績】</p>					
別添資料	令和5年度: 0件					
有	令和6年度: 1件, 2,000千円					
(一覧表/図面等)	令和7年度: 0件 (相談 2件)					
<p>国が進める東京圏から地方への人の流れを推進するため、県と連携し、東京圏から本市への移住・定住を促進する。市内企業にも継続して協力を依頼し、人材不足解消にもつながるよう、制度について移住・定住ポータルサイトやみよしのよしみファンクラブを通じた情報発信に加え、ふるさと回帰支援センター等での広く周知を図っていく。</p>						

【令和7年4月1日改正版】

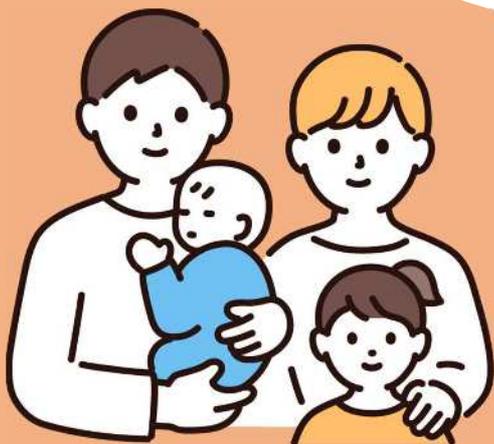
みよし人よし元気よし

# 東京圏から 三次市への移住で

最大 **100** 万円

# 支給します！

単身者は **60** 万円



プラス

**+** 子育て世帯は

**100** 万円お子様1人につきの加算！

詳しくは  
裏面をご覧ください →

みよし  
広島県三次市

三次市地域共創部まちづくり交通課  
広島県三次市十日市中二丁目8番1号  
TEL:(0824)62-6129  
E-mail:machi@city.miyoshi.hiroshima.jp

きりこちゃん



## □ 支援対象者

次のすべてに該当すること

東京23区在住者または通勤者が三次市に移住し、  
就業、テレワーク、または起業した場合

- ・ 三次市に住民票を移す直前の10年間のうち、通算5年以上、東京23区内に在住または東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内に通勤していたこと。
- ・ 三次市に住民票を移す直前に連続して1年以上、東京23区内に在住又は東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内への通勤をしていたこと。
- ・ 令和5年5月19日以降、三次市へ転入し、5年以上継続して居住する意思がある方。

※ 起業の場合は、広島県から「東京圏からの移住による地域課題解決型起業支援事業」に係る起業支援金が別途支給されます。

※ その他就業などに関する要件があります。

## □ 相談・申請

- ・ 移住・就業後、1年以内に申請

移住支援金制度には、さまざまな要件があります。申請をご検討されている場合、まずは「三次市地域共創部まちづくり交通課」へご連絡ください。三次市では、移住コーディネーターや集落支援員が、空き家の紹介などの移住に関する様々な相談に応じています。移住支援金制度以外の、移住に関する問い合わせもお待ちしています。

### 【人材不足にお悩みの経営者・人事担当者様へ】

移住支援金対象の法人として、広島県の求人マッチングサイト「ひろしまワークス」に登録しませんか。

#### メリット

- ・ 東京圏からの移住者に対して移住支援金が支給される要件である「移住支援金対象法人」としてPRすることができます。
- ・ 「ひろしまワークス」に掲載された求人情報は、移住支援金対象求人として民間求人サイトにも無料で掲載され、より多くの求職者への求人PRがしやすくなります。

「ひろしまワークス」登録方法はこちら！

<https://www.hiroshimaworks.jp/info/detail/2/2>



#### 【お問い合わせ】

三次市地域共創部 まちづくり交通課 移住定住推進係

TEL:(0824)62-6129

FAX:(0824)62-6235

E-mail:machi@city.miyoshi.hiroshima.jp

移住支援金については  
こちらから！

三次市公式HP



<https://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/soshiki/8/16877.html>

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課		
事業区分		継続事業 (拡充)		政策5 いきいきとした地域	
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)
みよしのよしみファンクラブ事業			① 報 償 費	⑤その他報償費	138
			② 旅 費	②普通旅費	170
			③ 役 務 費	①通信運搬費	70
			④ 委 託 料	①業務委託料 (物件費)	1,530
			⑤ 使用料及び賃借料	⑨その他使用料及び賃借料	146
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			2,054
該当ページ		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			95
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			2,149
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和8年度	2,149				2,149
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	三次市を応援する"ウチとソト"のヒトが"ツナガル"仕組みを構築し、まちづくり活動や地域の活性化につなげていくため、継続的に会員登録の拡大を図るとともに、三次市の関係人口を拡充するためファンクラブ事業を推進する。				
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報償費 138千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推し活選考に係る謝礼 31千円 (6,111円×5人分)</li> <li>・ 交流会 70千円 (35,000円×1人×2回分)</li> <li>・ 体験イベント 37千円 (6,111円×6人分)</li> </ul> </li> <li>○ 旅費 170千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>首都圏等で行う交流会に係る旅費                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京会場 55千円 (渋谷QWS 55,000円/1回×1人分)</li> <li>・ 提案事業 110千円 (55,000円/1回×2人分)</li> <li>・ 広島会場 5千円 (1,100円/1回×4人分)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○ 需用費 95千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消耗品費 20千円 (チラシ厚紙代)</li> <li>・ 印刷製本費 75千円 (会員ブック増刷)</li> </ul> </li> <li>○ 役務費 70千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員向けの会報発送料 (年1回発送予定, 140円×500人分)</li> </ul> </li> <li>○ 委託料 (業務委託料 (物件費)) 1,530千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案事業業務 200千円</li> <li>・ 会員証バッジ制作委託料 230千円</li> <li>・ 公式アンバサダー業務 1,100千円</li> </ul> </li> <li>○ 使用料及び賃借料 146千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファンクラブ交流会会場借上料 ※付帯設備料金を含む (渋谷QWS等) 3,630円×40人分</li> </ul> </li> </ul>				
別添資料	無				
(一覧表/図面等)					
 <p>R7.10.4~5 推し活体験ツアーの様子</p>  <p>21 Fanmeeting in SHIBUYA QWS</p>					
<p>継続事業&gt; 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>現在, 1,400人の会員登録があり, 令和7年度の活動実績は, 推し活ツアー9人, 東京散歩21人, SHIBUYA QWSでのファンミーティング23人, 2月28日開催のmioby DoTSでの芸備線利用促進を絡めたイベント37人 (2月20日時点の申込数) となっている。引き続き, 会員を増やし, 三次を応援したい人と三次で活躍する人, 地域活動に取り組む人をつなげていく"ツナガリ人口"の拡大を図っていく。さらに交流会など企画内容を変えながら, みよしの推し活の活動を増やし, まちづくりや地域活性化につなげていく。</p>					

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課		
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域	
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)
移住体験・空き家見学現地ツアー事業			① 報 償 費	⑤その他報償費	49
			② 役 務 費	③広告料	300
			③ 使用料及び賃借料	④自動車借上料	150
			④		
			⑤		
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		499
該当ページ		64 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 *該当なし"0"を挿入 →		40
		65 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		539
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和8年度	539				500
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
特定財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金	ふるさと創生基金繰入金			
事業内容及びその目的 (めざすもの)	本市の移住支援制度を活用した移住の半数近くが県内からとなっている。本事業では県内の移住を検討している方を対象に、現地見学ツアーを開催する。ツアーでは市内の空き家を見学と併せ、実際に本市へ移住した方から三次での暮らしについて話をしていただき、農業体験などを通じて実際に三次に住むイメージを持っていただくことで移住促進を図る。				
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報償費 49千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見学先で体験談を話される移住者への謝礼 (6,111円×8人分)</li> </ul> </li> <li>○ 需用費 30千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住体験・空き家見学現地ツアー事業参加者への記念品代</li> </ul> </li> <li>○ 役務費 310千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通信運搬費 10千円</li> <li>・ 広告料 300千円 (移住体験・空き家見学現地ツアー事業案内)</li> </ul> </li> <li>○ 使用料及び賃借料 150千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ツアー参加者移動用バス (75,000円×2回分)</li> </ul> </li> </ul>				
別添資料	 				
無	<p>空き家見学の様子</p> <p>移住者同士での交流の様子</p>				
(一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					
令和6年度から実施しており、令和7年度では家族連れや単身で移住を希望されている10名の参加があり、実際に移住につながっている。令和8年度も継続して移住を検討される方のニーズにあったツアーを企画し、移住につながる取組みを実施していく。					

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課		
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域	
事業名			節名称	細節名称	
みよし暮らしフェア（出張移住相談会）事業			① 報 償 費	⑤その他報償費	
			② 旅 費	②普通旅費	
			③ 需 用 費	①消耗品費	
			④		
			⑤		
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書			⑥（①～⑤の計） →		
該当ページ			⑦その他の節など（上記以外）の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		
64 /頁					
65 /頁			⑧（⑥+⑦）事業合計額 →		
185			185		
0			185		
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和8年度	185				180
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
特定財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金	ふるさと創生基金繰入金			
事業内容及びその目的 (めざすもの)	本市の移住支援制度を活用した移住の半数近くが県内からとなっている。本事業では県内の移住を検討している方を対象に、現地見学ツアーと併せ、県北出身者が比較的多い広島市内にある商業施設等でのみよし暮らしフェア（出張移住相談会）を実施し移住促進を図る。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報償費 77千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 司会等謝礼 (40,000円×1名, 6,111円×6名分)</li> </ul> </li> <li>○ 旅費 8千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島会場 1,100円×7人分</li> </ul> </li> <li>○ 需用費 100千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みよし暮らしフェア（出張移住相談会）事業記念品代 100千円</li> </ul> </li> </ul>				
別添資料	R7.12.13 みよし暮らしフェア（出張移住相談会）事業				
無	トークショーとワークショップ様子				
(一覧表/図面等)					
<p>継続事業＞ 過去実績を検証して、変更した点（ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など）または、継続としたその主な理由（要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など）</p> <p>本市の移住支援制度を活用した移住の半数近くが県内からとなっていることから、広島市内の商業施設において、UIターンへの働きかけや関係人口（ツナガリ人口）の拡大を目的に継続的に実施する。令和7年度は、先輩移住者や地域で子育て支援の取組が行われている団体等の紹介のためのトークショーやステージ、ワークショップや特産品の物販ブースを設けて、移住希望者や市内居住者などつながりのある人が約60～70人の来場があった。</p>					

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
縁つなぐ出会い創出支援事業			①	役 務 費	①通信運搬費	1
			②	負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	1,200
			③			
			④			
		⑤				
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		1,201	
該当ページ		64 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		65 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		1,201	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債		負担金等その他
令和8年度	1,201				1,201	
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	少子高齢化の一因である未婚および晩婚の増加に対する取組として、市内で結婚を望む方の出会いや交流を目的としたイベントを実施する団体に対し、「三次市縁つなぐ出会い創出支援事業補助金」を交付する。					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○ 役務費 1千円 ・ 補助金交付に係る通信運搬費 ○ 負担金, 補助及び交付金 1,200千円 【補助金の額】 400千円/1団体を上限に交付 参加者の定員規模により補助金上限額を下記のとおり設定 1団体, 400千円の上限まで①~④を組み合わせ実施可能 ①定員50人以上: 400千円 ②定員30~49人: 300千円 ③定員10~29人: 200千円 ④定員9人以下: 100千円 【補助率】 2分の1 【実績】 ・ 令和6年度交付実績 交付件数 5件 (申請団体: 4 団体) 補助額 396千円 ・ 令和7年度交付状況 ※令和8年2月現在 実施済 2件 (申請団体: 1 団体) 補助額 39千円					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 婚活支援団体の開催告知チラシ					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
結婚を希望されている方へ「出会いの場」の提供していく手法として、結婚支援団体が実施する市内で結婚を望む方の出会いや交流を目的としたイベント等の実施は有効な手段のひとつであることから、継続的に活動が行われるよう支援していく必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課		
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域	
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)
地域おこし協力隊事業 (起業支援補助を含む)			① 報 償 費	⑤その他報償費	17,708
			② 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	12,140
			③		
			④		
実施計画No,		62	⑤		
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			29,848
該当ページ		64 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		257
		65 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		30,105
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	
令和8年度	30,105				30,105
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	人口減少・少子高齢化が進む本市において、都市部などの地域外から移住した地域おこし協力隊員が地域活動や農業などへ従事する中で、担い手不足などの地域課題の解消を図り、活動期間中に地域と積極的に関わることで、最終的に定住(定着)を図る。				
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○ 報償費 17,908千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊報償費                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① 農業研修 1人 2,796千円 (233千円×12ヵ月分)</li> <li>② スポーツ振興 2人 5,592千円 (233千円×12ヵ月分)</li> <li>③ 地域振興 2人 4,194千円 (233千円×12ヵ月分, 233千円×6ヵ月分)</li> <li>④ 観光振興 1人 2,796千円 (233千円×12ヵ月分)</li> <li>⑤ 事業承継 1人 2,330千円 (233千円×10ヵ月分)</li> </ul> </li> <li>講師謝礼 200千円 ※募集中</li> <li>隊員の募集, 受け入れに伴う専門家からの助言等への謝礼</li> </ul> <p>○ 普通旅費 16千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当者会議 3,780円×2人×2回</li> </ul> <p>○ 役務費 6千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>募集に係るフェアへの荷物発送代</li> </ul> <p>○ 使用料及び賃借料 35千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選考会に係る宿泊費 (7,000円×5人分)</li> </ul> <p>○ 負担金, 補助及び交付金 12,140千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊活動補助金 10,140千円 (継続分) 1,600千円×4人, 800千円×1人 (新規分) 1,600千円×1人, 1,600千円×1人 (事業承継) ×10/12ヵ月</li> <li>地域おこし協力隊企業支援補助金 2,000千円 (1,000千円×2人分)</li> </ul>				
別添資料	無				
(一覧表/図面等)					
 <p>R7.4.1委嘱交付式の様子</p>					
 <p>R7.12.17研修会の様子</p>					
<p>継続事業&gt; 過去実績を検証して、改善・工夫した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>					
<p>本事業は、地域の活性化や農業の担い手不足の解消、本市への定住(定着)につながる仕組みであり、人口減少が進む中、地域課題の解消につながる事業として継続して実施する必要がある。令和7年度は、農業研修を受けながら新規就農をめざす隊員、スポーツ振興を推進する隊員、地域活性化に取り組む隊員、観光振興を推進する隊員と、多様な任務で活動する協力隊を委嘱する予定である。</p>					

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策2 安全で快適な生活環境		
事業名		事業 (経費) 内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
生活交通確保対策事業			① 需用費	④印刷製本費	157	
			② 委託料	①業務委託料 (物件費)	55,384	
			③ 負担金, 補助及び交付金	①負担金 (補助費)	23,548	
			④ 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	207,767	
			⑤ 扶助費	①扶助費	3,000	
実施計画No,		28				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			289,856	
該当ページ		66 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
		67 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			289,856
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	289,856		4,170			
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
特定財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	広島県市町運行路線再編促進費補助金				
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	地域公共交通計画に基づき、通勤や通院、通学、買い物といった市民の日常生活に係る移動手段を維持・確保するため、路線バスに対する運行支援や市民バスの運行業務委託を行うほか、相乗りタクシー事業による公共交通空白地の解消を図る。また、将来にわたって持続可能な地域公共交通体系のあり方を検討するための公共交通体系研究業務を実施する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 需用費 157千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相乗りタクシー利用助成券印刷代 157千円</li> </ul> </li> <li>○ 委託料 55,384千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三次市民バス (君田町, 布野町, 作木町, 吉舎町, 三和町, 甲奴町内を運行) の運行業務委託料 55,384千円</li> </ul> </li> <li>○ 負担金, 補助及び交付金 (負担金 (補助費)) 23,548千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三次市地域公共交通会議負担金 12,418千円</li> <li>※うち、公共交通体系研究業務に係る予算7,018千円は審査シートNo.16で説明</li> <li>・ 三江線法定協議会負担金 266千円</li> <li>・ 三江線代替バス運行負担金 10,864千円</li> </ul> </li> <li>○ 負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費)) 207,767千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活交通維持対策補助金 207,767千円</li> <li>路線バス (備北交通, 中国バス, 十番交通, 君田交通) の運行維持に係る補助金 201,853千円</li> <li>ふれあいタクシーみらさか (三次広域商工会) の運行維持に係る補助金 5,914千円</li> </ul> </li> <li>○ 扶助費 3,000千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三次市相乗りタクシー事業助成費 3,000千円 (1件あたりの最大交付決定額60千円×申請見込件数50件)</li> </ul> </li> </ul>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 <p>三次市民バス</p>  <p>三次市相乗りタクシー利用助成券</p>					
<p>継続事業&gt; 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>本事業は、市民の通学、買い物、通院などの日常生活に係る移動手段である地域公共交通の確保を目的としたもので、継続した実施が必要である。令和8年3月には三次市地域公共交通計画 (第2期) を策定し、次年度以降は「まちづくり及び移動需要に合った適切かつ持続可能な地域公共交通体系を確立する」という基本方針に基づき、利用しやすい地域公共交通とするためにバス路線の見直しなどを行うとともに、財政負担額の抑制を含めた検討を継続して行う。</p>						

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課		
事業区分		新規事業		政策2 安全で快適な生活環境	
事業名		節名称	細節名称	予算額 (千円)	
公共交通体系研究業務		① 負担金, 補助及び交付金	①負担金 (補助費)	7,018	
		②			
		③			
		④			
		⑤			
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		7,018	
該当ページ	66 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	67 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		7,018	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	
令和8年度	7,018				7,018
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	三次市地域公共交通計画 (第2期) を踏まえ, 将来にわたって持続可能な地域公共交通体系のあり方を検討するための公共交通体系研究業務を実施する。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○ 負担金, 補助及び交付金 三次市地域公共交通会議負担金 12,418千円のうち7,018千円</p> <p>公共交通体系研究業務の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連データ (人口動態, 利用者数, 運転士数等) の収集・分析</li> <li>・ 実態調査の実施 (交通事業者・公共交通利用者)</li> <li>・ 公共交通ネットワークの基本構造の課題整理</li> </ul> <p>※三次市地域公共交通会議で業務を実施</p>				
別添資料	無				
(一覧表/図面等)	<p>現在の地域公共交通体系のイメージ</p>				
継続事業	過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)				

款	項	目	担当部局・課名																													
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課																													
事業区分		継続事業		政策2 安全で快適な生活環境																												
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)																											
AIオンデマンドバス事業			①	委託料	①業務委託料 (物件費)	16,500																										
			②																													
			③																													
			④																													
			⑤																													
実施計画No,		29																														
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		16,500																											
該当ページ		66 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0																											
		67 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		16,500																											
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)																										
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																											
令和8年度	16,500		3,235			13,265																										
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称																														
	国庫支出金																															
	県支出金	広島県市町等運行路線再編促進費補助金																														
	負担金																															
事業内容及びその目的 (めざすもの)	本市の中心市街地の市街地循環バスに替わるAIオンデマンドバス (のるーと三次) について、本格運行 (週7日) を開始することで、地域住民の移動に対する利便性の向上と、JR芸備線や高速バスによる来訪者への二次交通として移動手段を提供することで地域ならびに地域経済の活性化を図る。																															
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○ 委託料 (公共交通利用促進業務委託料) 16,500千円</p> <p>【内訳】</p> <p>(1) 運行支援業務委託料 4,756千円 (①~④の計)</p> <p>① 運行支援費 1,320千円</p> <p>② 運行システム利用料 1,980千円</p> <p>③ LINE連携運用保守費 1,254千円</p> <p>④ 車載タブレット等通信費 202千円</p> <p>(2) 運行管理業務委託料 11,744千円 (①~⑥の計-⑦)</p> <p>① 運行管理委託料 1,782千円</p> <p>② 受付専用電話通話料 66千円</p> <p>③ 車両運転手経費 13,040千円</p> <p>④ 燃料費 2,019千円</p> <p>⑤ 乗降ポイント土地賃借料 43千円</p> <p>⑥ 車両管理費 (点検費, 車検経費, 保険料など) 394千円</p> <p>⑦ 運賃収入 (見込み) 5,600千円</p> <p>【運賃収入の積算】</p> <table border="1"> <tr> <td>R8目標利用者数</td> <td>23,100人</td> <td>R5年くるん利用者実績15,447人の1.5倍</td> </tr> <tr> <td>① くるん1人当たりの平均運賃収入</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年間収入</td> <td>2,516,749円</td> <td>R4年10月1日~令和5年9月30日運行収益</td> </tr> <tr> <td>上記期間の利用者数</td> <td>15,539人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1人当たりの平均収入</td> <td>162円 a</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② AIオンデマンドバスの利用料金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用料金</td> <td>300円</td> <td>くるんの1.5倍</td> </tr> <tr> <td>1人当たりの平均収入</td> <td>243円</td> <td>見込額 (a × 1.5)</td> </tr> <tr> <td>● 収入見込額</td> <td>5,612,031円</td> <td></td> </tr> </table>					R8目標利用者数	23,100人	R5年くるん利用者実績15,447人の1.5倍	① くるん1人当たりの平均運賃収入			年間収入	2,516,749円	R4年10月1日~令和5年9月30日運行収益	上記期間の利用者数	15,539人		1人当たりの平均収入	162円 a		② AIオンデマンドバスの利用料金			利用料金	300円	くるんの1.5倍	1人当たりの平均収入	243円	見込額 (a × 1.5)	● 収入見込額	5,612,031円	
R8目標利用者数	23,100人	R5年くるん利用者実績15,447人の1.5倍																														
① くるん1人当たりの平均運賃収入																																
年間収入	2,516,749円	R4年10月1日~令和5年9月30日運行収益																														
上記期間の利用者数	15,539人																															
1人当たりの平均収入	162円 a																															
② AIオンデマンドバスの利用料金																																
利用料金	300円	くるんの1.5倍																														
1人当たりの平均収入	243円	見込額 (a × 1.5)																														
● 収入見込額	5,612,031円																															
別添資料	無																															
(一覧表/図面等)																																
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)																																
令和7年12月から令和8年3月までは実証運行期間として運行してきたが、令和8年4月からは本格運行に移行する。本格運行にあたり、これまで平日のみの運行であったが、土日祝も含めて運行日を拡大することで、地域住民の移動に対する利便性の向上と、JR芸備線や高速バスによる来訪者への二次交通として移動手段を提供することで地域ならびに地域経済の活性化を図る。。																																

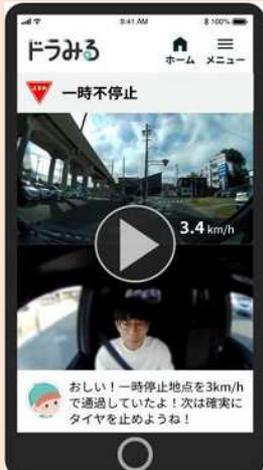


のるーと三次の使用車両

款	項	目	担当部局・課名	地域共創部 まちづくり交通課		
2	1	8				
事業区分		継続事業		政策 2 安全で快適な生活環境		
事業名		事業 (経費) 内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
JR芸備線・福塩線利用促進事業			① 委託料	①業務委託料 (物件費)	1,000	
			② 負担金, 補助及び交付金	①負担金 (補助費)	825	
			③ 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	15,000	
			④			
			⑤			
実施計画No,		30				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			16,825	
該当ページ		66 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
		67 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			16,825
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	16,825		500		16,325	
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
特定財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業費補助金				
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	地域間幹線交通であるJR芸備線・福塩線について、沿線自治体と連携した利用拡大と利用促進に向けた事業を継続的に行うことで、路線の維持と沿線地域の活性化を図る。併せて、鉄道・バス事業者・市が連携した「バス&レールどっちも割きっぷ」の販売促進により、三次ー広島間の移動需要の拡大を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 委託料 1,000千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR芸備線・福塩線の利用促進に係る業務委託料</li> </ul> </li> <li>○ 負担金, 補助及び交付金 (負担金) 825千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸備線対策協議会負担金 606千円 芸備線沿線自治体 (広島市, 安芸高田市, 三次市, 庄原市) で構成する協議会による芸備線の利用促進策の実施に係る負担金</li> <li>・福塩線対策協議会負担金 219千円 福塩線沿線自治体 (福山市, 府中市, 世羅町, 三次市) で構成する協議会による福塩線の利用促進策の実施に係る負担金</li> </ul> </li> <li>○ 負担金, 補助及び交付金 (補助金) 15,000千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間幹線公共交通機関利用促進事業補助金 バス&amp;レールどっちも割きっぷの販売に係る補助金 (1件当たりの平均補助額500円×販売想定件数30,000件)</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;販売実績&gt;  令和3年度 3,665枚  令和4年度 7,199枚  令和5年度 15,563枚  令和6年度 19,589枚  令和7年度 30,000枚 (見込)  ※1月末実績26,661枚</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">バス&amp;レールどっちも割きっぷ  当該事業が評価され、令和7年10月「2025年度グッドデザイン賞」を受賞</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、改善・工夫した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
JR線の利用促進は、芸備線対策協議会や福塩線対策協議会を中心に沿線自治体が連携した継続的な取組が必要である。市単独事業として実施している「バス&レールどっちも割きっぷ」は、販売枚数も増加傾向にあり利用者数の増加に寄与している。4月からは従来の紙きっぷと併せ、デジタルチケット販売の導入を予定しており、引き続き運行事業者と連携して利用促進を図っていく。						

款	項	目	担当部局・課名								
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課								
事業区分		新規事業		政策 2 安全で快適な生活環境							
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)						
全国ローカル鉄道甲子園in三次事業			① 報 償 費	②講師謝礼	200						
			② 旅 費	①費用弁償	1,443						
			③ 需 用 費	①消耗品, ④印刷製本費	660						
			④ 委 託 料	①業務委託料 (物件費)	4,950						
			⑤ 使用料及び賃借料	②建物借上料, ④自動車借上料	794						
実施計画No,		31									
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		8,047						
該当ページ		66 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 *該当なし"0"を挿入 →		53						
		67 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		8,100						
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)					
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他						
令和 8 年度	8,100				8,000	100					
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称									
	国庫支出金										
	県支出金										
	負担金	企業版ふるさと納税									
事業内容及びその目的 (めざすもの)	企業版ふるさと納税を活用し、本市に全国のローカル鉄道の活性化に取り組む高校生や地方自治体、関係者など呼び込み、主な利用者である高校生によるローカル鉄道の活性化策の発表などを通じて、ローカル線の魅力の掘り起こしや、これからのローカル線の可能性を多角的な視点から見つめ直し、利用促進を図る。										
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	● 事業総額 8,100千円 【内訳】 ○ 報償費 200千円 ・ 記念講演講演者謝礼 ○ 旅費 1,443千円 ・ 参加高校への交通費補助 (上限49,500円/1校×15校分) 743千円, ゲスト出演料 (1日) 700千円 ○ 需用費 660千円 ・ 記念品代等 264千円, 記念冊子印刷代 (300部) 396千円 ○ 役務費 53千円 ・ 案内, 冊子等の送付等 ○ 委託料 (業務委託料 (物件費)) 4,950千円 ・ 事業企画・実施支援等業務委託料 (プロポーザルにより事業者を選定) ○ 使用料及び賃借料 794千円 ・ 参加高校生の宿泊費 (9.9千円×4人/1校×15校分) 594千円, JR貸切列車運行費等 200千円  ■ 事業実施時期等 (予定) 開催日 令和8年8月2日 (日), 3日 (月) の2日間										
	別添資料 無 (一覧表/図面等)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>会場・事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日目:8月2日 13:30~17:30</td> <td>会場:三次市民ホールきりり 大ホール ○ 高校生をメインとした交流事業</td> </tr> <tr> <td>2日目:8月3日 9:00~13:00</td> <td>会場:十日市コミュニティーセンタホール, 貸切列車 ○ 高校生による交流事業</td> </tr> </tbody> </table>					日時	会場・事業内容	1日目:8月2日 13:30~17:30	会場:三次市民ホールきりり 大ホール ○ 高校生をメインとした交流事業	2日目:8月3日 9:00~13:00
日時	会場・事業内容										
1日目:8月2日 13:30~17:30	会場:三次市民ホールきりり 大ホール ○ 高校生をメインとした交流事業										
2日目:8月3日 9:00~13:00	会場:十日市コミュニティーセンタホール, 貸切列車 ○ 高校生による交流事業										
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)											

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策2 安全で快適な生活環境		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
高齢者運転免許自主返納支援事業			①	需用費	④印刷製本費	119
			②	役務費	①通信運搬費	88
			③	扶助費	①扶助費	1,724
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			1,931
該当ページ			⑦その他の節など(上記以外)の合計額 *該当なし"0"を挿入 →			0
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			1,931
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	1,931					1,931
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	高齢ドライバーの交通事故防止と公共交通機関の利用促進を図るため、運転免許を自主返納した65歳以上の高齢者に対し、市民バス等無料利用者証の交付やタクシー利用助成券などの支援を行うことで公共交通の利用促進を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○ 需用費 119千円 高齢者運転免許自主返納支援事業タクシー利用助成券印刷代</p> <p>○ 役務費 88千円 郵便代 (簡易書留)</p> <p>○ 扶助費 1,724千円 (債務負担行為 1,100千円: 令和8年度~令和10年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 330千円 (令和6年度交付決定分)</li> <li>・ 500千円 (令和7年度交付決定分)</li> <li>・ 894千円 (令和8年度交付決定分)</li> </ul> <p>高齢者運転免許自主返納支援事業助成費 運転免許を自主的に返納した高齢者に対し、次のうちいずれか一つを交付する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 市民バス等無料利用者証等 (2年度間有効)</li> <li>② 広島県交通系ICカード「MOBIRY DAYS」(1万円分・有効期限なし)</li> <li>③ 市内タクシー利用助成券 (1万円分・3年度間有効)</li> </ol> <p>※ 令和7年度申請見込み件数: 190件 (R6:188件, R5:179件)</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本事業は運転免許を自主返納された後の交通手段を支援することで、運転に心配・不安な高齢ドライバーが自主返納への後押しになること及び、本事業をきっかけに公共交通の利用促進につなげることを目的に実施している。また、本事業は、三次警察署とも連携して実施しており、今後も高齢化が進む中、継続した取組みが必要である。						

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課		
事業区分		継続事業		政策2 安全で快適な生活環境	
事業名		節名称	細節名称	予算額 (千円)	
三次いきいき安全ドライブ運動		① 需用費	①消耗品費	50	
		② 役務費	①通信運搬費	99	
		③ 委託料	①業務委託料 (物件費)	150	
		④			
		⑤			
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		299	
該当ページ	66 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	67 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		299	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
	299	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和8年度					299
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
特定財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	<p>「タテナ会議 高齢者安全運転支援分科会」と連携し、令和6年度から3箇年の期間で高齢者を対象に交通事故防止策に向けた大規模実証実験「三次いきいき安全ドライブ運動」実証実験を実施している。令和7年度では、「健康×安全ドライビングフェスタ」を開催、これまでの収集データをもとに取組報告や基調講演を行い、安全運転意識の向上を図っている。令和8年度は取組最終年度と引き続き交通事故死傷者ゼロをめざす取組を行う。</p>				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○ 需用費 50千円 (消耗品費) ・ 参加者の記念品</p> <p>○ 役務費 99千円 (通信運搬費) ・ 参加者への郵便代・タグ回収郵送料</p> <p>○ 委託料 150千円 ・ 通信機器設置業務委託料 (車載タグ取付会の設置等)</p> <p>令和7年度に新たに取組んだ速度超過や急ブレーキを測定する機器と運動したドライブレコーダー「ドラみる」の様子</p>  <p>運動参加者による茶話会の様子</p> 				
別添資料	「タテナ会議 高齢者安全運転支援分科会」				
無 (一覧表/図面等)	<p>企業の枠組みを超えて交通事故死傷者ゼロを目指す活動。高齢ドライバーの事故防止に取り組む分科会は、マツダ株式会社、株式会社デンソー、一般財団法人トヨタ・モビリティ基金、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社アイシン、株式会社ミックウェア、公益財団法人豊田都市交通研究所で構成。</p>				
<p>継続事業&gt; 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>					

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	9	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
高校生国際理解支援事業			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	1,800	
			②			
			③			
			④			
		⑤				
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		1,800	
該当ページ	70 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →				
	71 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			1,800	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	1,800	0	0	0	0	1,800
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	高校生国際理解支援事業補助金：市内高等学校での交流活動をととして、語学力の向上や、異文化への理解を育み、国際感覚豊かな人材の育成を支援する。					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p><b>負担金, 補助金及び交付金 1,800千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校生国際理解支援事業補助金 1,800千円</li> <li>1高等学校あたり600千円上限</li> <li>海外派遣事業は補助率1/2, 一人当たり100千円上限</li> <li>その他国際交流事業は1事業あたり200千円上限</li> <li>〈積算の根拠〉市内3高等学校×600千円=1,800千円 (要綱の定め)</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>三次高等学校：国際交流事業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>日彰館高等学校：国際交流事業</p> </div> </div>					
別添資料	無  (一覧表/図面等)					
継続事業＞過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
グローバル化・多文化共生が進む中, 本事業を活用し, 参加者自身の有意義な体験等につながっている。引き続き, 多くの生徒に異文化交流を体験してもらい, 語学力向上のきっかけや, 異文化への理解を育み, 国際感覚豊かな人材の育成につなげる。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	9	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
国際交流団体活動支援事業			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	4,327	
			②			
			③			
			④			
		⑤				
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			4,327
該当ページ	70 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	71 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			4,327	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	4,327	0	0	0	3,668	659
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	国際平和交流基金利子				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	海外の姉妹・友好都市などの国際友好親善及び国際協力推進並びに国際的な人材育成の支援を図るため、一般財団法人三次国際交流協会の運営を支援するとともに連携して事業を推進する。市内の国際交流団体が行う国際交流事業に要する経費に対し、補助金を交付する。					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p><b>負担金, 補助金及び交付金 (補助金 (補助費)) 4,327千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次国際交流協会補助金 4,327千円</li> </ul> <p>本市を拠点とする国際交流推進団体が実施する国際交流事業 (受入・派遣事業) に対し助成金を交付し活動を支援する。(補助率1/2)</p> <p>〈積算根拠〉</p> <p>こうぬジミー・カーターシビックセンター国際交流協会 (アメリカス市訪問団受入事業・派遣事業)</p> <p>【アメリカス市訪問団受入事業】 659千円</p> <p>【アメリカス市訪問団派遣事業】 3,668千円</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)			アメリカス市訪問団受入事業		アメリカス市訪問団派遣事業	
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本事業を継続することで、市内国際交流推進団体が実施する事業が継続され、海外の姉妹・友好都市などの国際友好親善及び国際協力推進並びに国際的な人材の育成につながる。また、故ジミー・カーター氏との交流で築いた縁が途絶えることのないよう、引き続き持続可能な国際交流の推進を行っていく。						

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	5	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業		政策1 健康で安心感のある暮らし		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
男女共同参画推進事業			①	委託料	①業務委託料(物件費)	1,993
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			1,993
該当ページ		96 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			463
		97 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			2,456
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	2,456	0	0	0	0	2,456
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	男女共同参画社会の実現に向け、国際女性デーや男女共同参画週間などを中心として啓発事業を実施。 また、昨年度アンケートを実施した結果を基礎資料とし、「三次市男女共同参画基本計画 (第5次)」を策定する。 ・男女共同参画週間 6月23日~29日 ・国際女性デー 3月8日					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<b>委託料 (業務委託料 (物件費)) 1,993千円</b> ・啓発業務委託料 493千円 男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業の実施に係る委託料 (積算等の根拠) 男女共同参画推進講演会講師派遣事業 (保育所PTA・住民自治組織) 35,000円×5回×1.1 = 192,500円 国際女性デーや男女共同参画週間等における啓発事業 (講演会等) 300,000円 ・計画策定業務委託料 1,500千円 三次市男女共同参画基本計画 (第5次) 策定に係る業務					
別添資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>男女共同参画推進講演会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>啓発パネル展示</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>男女共同参画推進シールアンケート</p> </div> </div>					
無 (一覧表/図面等)						

継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)

令和8年度は「三次市男女共同参画基本計画 (第5次)」を策定するため、昨年度実施したアンケート結果を基礎資料とし男女共同参画社会の実現に向けた計画を策定していく。また、啓発事業の実施にあたっては、昨年度に実施した男女共同参画推進シールアンケートのように対象者に合わせたテーマや内容を工夫し、効果的な啓発となるようさらに検討し実施する。広報紙やホームページのみならず、広島県等とも連携し、男女平等意識の醸成のための広報啓発活動に引き続き取り組む。

款	項	目	担当部局・課名			
7	1	2	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
女性活躍推進プラットフォーム事業 (アシスタ lab.)			①	委託料	①業務委託料 (物件費)	9,612
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,		10				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			9,612
該当ページ		154 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			449
		155 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			10,061
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	10,061	2,500	0	0	7,501	60
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	地域女性活躍推進交付金				
	県支出金					
	負担金	過疎地域持続的発展基金繰入金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	それぞれのライフステージに合わせた多様な働き方の選択やチャレンジを応援し、女性の「働く」を応援する環境整備の一環として、女性活躍推進プラットフォーム「アシスタ lab.」を開設し、女性の起業・就業支援を実施する。					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p><b>委託料 (業務委託料 (物件費)) 9,612千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運營業務委託料 1,612千円 アシスタ lab.HPに係る業務委託料 1,332,100円 アシスタ lab.イベントチラシ作成業務 84,700円</li> <li>・認定証作成業務委託料 195千円 みよしアントレーヌ認定証盾作成業務 194,040円</li> <li>・女性起業・就業支援業務委託料 8,000千円 女性活躍推進プラットフォーム事業として、起業セミナー・就業セミナー、専門家による個別相談、交流会・イベント等の実施、常駐コーディネーターの配置等を委託</li> </ul>					
						
	創業セミナー	トークセッション	交流会			
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
<p>継続事業&gt; 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>三次市内だけでなく市外でも、この施設の認知度も上がってきており、女性の起業・就業に寄与している。また、施設利用促進、コーディネートや交流会等の開催により、会員同士の繋がりが深まり、マルシェ等イベントの開催や事業の拡大つながったケースも生まれている。交流を中心に、起業後の支援も継続して行う。また、就業に向けての支援も積極的に行い、セミナーを開催するなど女性が一步踏み出せるような支援を継続して行っていく。</p>						

款	項	目	担当部局・課名			
10	6	1	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業		政策4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称		細節名称	予算額 (千円)
スポーツのまちみよし応援事業			① 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金 (補助費)	10,600
			②			
			③			
			④			
		⑤				
実施計画No,		58				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			10,600
該当ページ		202 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0
		203 /頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		10,600
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	10,600	0	0	0	10,600	0
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
特定財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	スポーツ・文化みよし夢基金9,763千円 基金利子837千円				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	全ての人がそれぞれのライフステージに応じたスポーツとのかかわり方を考え、「いつでも」、「どこでも」、「誰も」が日常生活の中で自然とスポーツに親しみ、健康でいきいきと活力あふれる「スポーツのまちみよし」を実現することを目的に、令和6年度に設立した三次スポーツコミッションを中心に関係団体等と連携して各種スポーツの推進と地域活性化を図る。					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p><b>負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費))</b>  <b>スポーツのまちみよし応援事業補助金 10,600千円</b></p> <p>【事業内容】</p> <p>①地元チームを応援事業：5,000千円          トップス広島, チームWISH応援事業</p> <p>②子どもの夢を応援事業：1,800千円          県内トップチーム等学校訪問事業, 女子サッカースクールプロジェクト等</p> <p>③スポーツ大会・合宿誘致事業：1,800千円          JABA都市対抗野球中国予選, 女子野球大会等</p> <p>④女子スポーツ応援事業：1,000千円          女子スポーツイベント, 女子野球観戦・交流事業</p> <p>⑤Sports in Life 事業：1,000千円          スポーツの習慣化 (ニュースポーツ等の実施)</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 <p>JABA日本選手権中国予選</p>  <p>ニュースポーツフェスタ</p>  <p>トラスポ!ひろしま</p>					
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
「三次スポーツコミッション」を中心に, 関係団体と市が一体となり官民共創でスポーツを通じた地域活性化に取り組む。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	6	1	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称		細節名称	予算額 (千円)
侍ジャパン女子代表強化合宿誘致事業			① 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金 (補助費)	3,000
			②			
			③			
			④			
		⑤				
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書				⑥ (①~⑤の計) →	3,000	
該当ページ		202 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →	0	
		203 /頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →	3,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	3,000	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	3,000
令和 8 年度		0	0	0	0	
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
特定財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)		侍ジャパン女子代表の合宿受入れるとともに、市内の学校等への訪問・交流を実施しシティプロモーションにつなげる。				
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等		<b>負担金, 補助及び交付金 (負担金 (補助費))</b> <b>スポーツのまちみよし応援事業補助金 (侍ジャパン女子代表強化合宿誘致事業) 3,000千円</b> 【事業内容】 代表合宿開催地負担金				
別添資料 無  (一覧表/図面等)		 				
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
女子野球ワールドカップ開催の実績を踏まえ、女子野球を通じた交流人口拡大、女子野球タウンとしての地域活性化、女性活躍推進、市内外へのシティプロモーション効果を目的として継続していく。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	6	1	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称		細節名称	予算額 (千円)
スポーツ等合宿助成事業			① 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金 (補助費)	3,000
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書				⑥ (①~⑤の計) →	3,000	
該当ページ		202 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →	0	
		203 /頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →	3,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	3,000	0	0	0	0	3,000
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
特定財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)		市内の各スポーツ施設等を利用した合宿, 大会等における市内宿泊費用を助成することで, 交流人口の拡大や施設の稼働率の向上をめざす。				
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等		<b>負担金, 補助及び交付金 (負担金 (補助費))</b> <b>スポーツのまちみよし応援事業補助金 (スポーツ等合宿助成事業) 3,000千円</b> 【事業内容】 スポーツ合宿宿泊助成事業: 3,000,000円 市内に宿泊し, 市内スポーツ施設等を利用した団体に対し, 宿泊者数×宿泊日数×1,000円助成。				
別添資料		 第11回女子硬式野球西日本大会  広島県高等学校駅伝競走大会				
無  (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
スポーツ等合宿助成事業については, 毎年多くの利用や問い合わせがあり (令和 6 年度 申請件数 9 6 件 延べ利用者数 2, 6 9 1 人), 本市を大会開催地, 合宿地として選んでいただいている一因と考えられる。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	6	1	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業 (拡充)		政策 4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
女子野球チーム支援事業		①	負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	15,000	
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,		59				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			15,000	
該当ページ		202 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
		203 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			15,000
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	15,000	0	0	0	15,000	0
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
特定財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	企業版ふるさと納税15,000千円				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	女子硬式野球クラブチーム「三次ブラックパールズ」の活動を支援し、地域課題解決地域や企業とのつながり、雇用や女性活躍の推進を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p><b>負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費))</b>  <b>スポーツのまちみよし応援事業補助金 15,000千円</b></p> <p>【事業内容】                      ・チーム運営支援 (用具等購入, 遠征等の費用, 業務委託等)</p>  <p>ルビー・リーグ</p>  <p>スポーツ教室</p>  <p>地域貢献活動</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
女子硬式野球の大会や練習のみならず, 学校訪問交流事業, 防災イベント, 防犯活動など地域貢献することで, 地域課題の解決に向けた取組を積極的に行う。また, 市内外企業等からの財政的支援等を受けながら, 本市のシティープロモーション活動にも力を入れ, 地元地域から愛されるチームをめざし地域活性化に取り組む。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	6	1	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業（内容見直し）		政策4 豊かな心と生きがい		
事業名			節名称	細節名称	予算額（千円）	
プロ野球公式戦開催事業など スポーツ大会開催事業			① 負担金，補助及び交付金	①負担金（補助費）	9,625	
			② 負担金，補助及び交付金	⑤補助金（補助費）	15,652	
			③ 委 託 料	①業務委託料（物件費）	100	
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥（①～⑤の計）		25,377	
該当ページ		202 /頁	⑦その他の節など（上記以外）の合計額 *該当なし"0"を挿入		0	
		203 /頁	⑧（⑥+⑦）事業合計額		25,377	
歳入に関する項目	予算額（千円） ⑧	特定財源内訳（千円）				一般財源（千円）
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	25,377	0	0	0	0	25,377
（予定） 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 （めざすもの）		三次スポーツコミッションを中心に関係団体等と連携して，各種スポーツ大会等を実施し地域活性化を図る。また，三次駅伝競走大会や各種競技団体への活動・運営補助を行い，本市のスポーツ推進を図る。				
事業の積算根拠等  （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	負担金，補助及び交付金（負担金（補助費））9,625千円 プロ野球公式戦等業務負担金 9,625千円		 <p>スポーツ少年団総合交歓大会</p>			
	負担金，補助及び交付金（補助金（補助費））15,652千円 三次スポーツコミッション事務局運営支援補助金：10,041千円 スポーツ振興事業補助金：5,611千円 ・スポーツ部会（各種競技）活動補助事業 ・三次市スポーツ少年団活動補助事業 ・三次駅伝競走大会運営補助事業 ほか		 <p>プロ野球公式戦ウエスタンリーグ戦</p>			
委託料（業務委託料（物件費））100千円 体力・運動能力調査委託料：100千円		 <p>三次駅伝競走大会</p>				
別添資料	無					
（一覧表／図面等）						
継続事業＞過去実績を検証して，変更した点（ICTの導入，DX等による手続きの簡素化，事業内容見直し，対象者拡大など）または，継続としたその主な理由（要綱等の定め，費用対効果が大い，対象が限定的，地域等との協議に基づく取組など）						
これまでプロ野球公式戦開催実行委員会がスポーツを観光資源と位置付けて行っていたプロ野球公式戦等開催事業について，「三次スポーツコミッション」が中心となって実施するほか，スポーツ競技団体やスポーツ少年団のみで行っていた大会等を，スポーツコミッションが「つなぎ役」となって関係団体や市，企業等が一体となり官民共創でスポーツを通じた地域活性化に取り組むこととした。						

款	項	目	担当部局・課名				
10	6	2	地域共創部 共生社会推進課				
事業区分		新規事業		政策 4 豊かな心と生きがい			
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)		
みよし運動公園改修事業			①	工事請負費	①工事請負費	261,300	
			②				
			③				
			④				
実施計画No,		57	⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			261,300		
該当ページ	202 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0		
	203 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			261,300		
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和 8 年度	261,300	0	0	261,300	0	0	
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
特定財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金						
事業内容及びその目的 (めざすもの)	みよし運動公園は平成 5 年に整備され 30 年以上経過しており老朽化している。また令和 3 年 3 月に策定した「三次市公共施設・個別施設計画」において、利用率の向上をめざすとともに、計画的な修繕により長寿命化を図ることとしている。今年度は陸上競技場電光掲示板と野球場の地下通路床を改修することにより、規模の大きい大会開催に対応可能な機能を維持し、利用者の安全性・快適性の確保と施設の長寿命化、維持管理コストの軽減を図るものである						
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<b>工事請負費, 工事請負費 261,300千円</b>  ・陸上競技場電光掲示板改修 既存設備をフルカラーLED表示盤に改修する。  工事請負費 245,300千円						
							
別添資料 無  (一覧表/図面等)	・野球場地下通路床改修 地下通路をスパイクで歩行可能なゴム床材に改修する。  工事請負費 16,000千円						
							
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)							